

第81回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 議事録

I. 日 時：2017年8月28日（月）13時30分～16時10分

II. 場 所：日本機械学会 第1会議室

III. 出席者：（委員18名中、出席者17名、欠席者1名）

三原（東北大）、飯田（東電FP）、藤田（MHPS）、木村（NIMS）、三好（川崎重工）、
天野（早大）、佐藤（発電技検）、岡（富士電機）、長谷川（日鉄住金テクノロジー）
松田（HSB ジャパン）、堀（経産省）、高木（火原協）、福富（電中研）、
東垂水（中部電力）、長塚（電源開発）、木村（東芝）、関根（IHI）

代理者：なし

欠席者：中谷（大口自家懇）

オブザーバ：桑原（関西電力）、澤野（日本電気協会）、樺田（MHPS）、吉田（東電FP）、
尾山（東電FP）

事務局：原

IV. 配付資料

81-1 第80回火力専門委員会議事録（案）

81-2 専門委員会・分科会委員案

81-3 第82回規格委員会議事録（案）

81-4-1 材料分科会報告

81-4-2 構造分科会報告

81-4-3 溶接分科会報告

81-4-4 配管減肉分科会報告

81-5 各分科会審議履歴表

81-6 火力専門委員会書面投票 No.71、メール審議 No.4 結果報告

81-7 発電用設備規格委員会書面投票 No.373 結果報告

81-8-1 規格委員会書面投票 No.373 の意見対応による修正案

81-8-2 規格委員会書面投票 No.373 の書面投票意見と対応案

81-9 次期火力専門委員会委員長の選任手続きについて

V. 議事

1. 前回議事録確認 [81-1]

前回議事録（案）の確認を行ない、議事録案は承認された。

2. 専門委員会、分科会の委員・役員承認 [81-2]

材料分科会の委員名簿において、芝委員の所属に会社名が抜けているので、会社名を記載する。また、配管減肉分科会の委員名簿において、濱口委員の濱が「浜」になっていたの
で、修正する。

(1) 火力専門委員会委員の推薦承認

由上委員と海老沢委員の退任が報告された。新任候補として桑原氏（関西電力）と澤野氏
（日本電気協会）の推薦、再任委員候補として飯田委員（副委員長）、藤田委員（幹事）、

三好委員、佐藤委員の再任意向が報告され、いずれも出席委員全員の賛成により規格委員会に推薦することが承認された。

- ・火力専門委員会：(新任) 桑原氏(関西電力)、澤野氏(日本電気協会)
- (退任) 由上委員、海老沢委員
- (再任) 飯田委員(副委員長)、藤田委員(幹事)、三好委員、佐藤委員

(2) 分科会委員の承認

各分科会の以下の退任、新任・再任候補が報告され、出席委員全員の賛成により承認された。

- ・材料分科会：
 - (新任) 芝氏(関西電力)
 - (退任) 妹尾委員
 - (再任) 西川委員(副主査)、吉田委員(幹事)
- ・構造分科会：
 - (新任) 松浦氏(中部電力)、芝氏(関西電力)
 - (退任) 高野委員、妹尾委員
 - (再任) 飯田委員(主査)
- ・溶接分科会：
 - (新任) なし
 - (退任) なし
 - (再任) 倉富委員(幹事)、逢澤委員
- ・配管減肉分科会
 - (新任) 濱口氏(関西電力)、岩間氏(東京パワーテクノロジー)
 - (退任) 堀委員、増田委員
 - (再任) 尾山委員(主査)

3. 報告事項

(1) 発電用設備規格委員会報告

[81-3]

第82回規格委員会の議事内容のうち、火力に関連する内容が報告された。発電用設備規格委員会の議事録において、火力専門委員会を退任された大橋委員が大野委員となっていたので、修正する。主な議事内容は以下のとおり。

- 火力専門委員会の委員の承認
- 火力専門委員会報告(5/18開催)
- 発電用火力設備規格に関する審議(高クロム鋼に係る発電用火力設備規格の追補、事例規格案)

(2) 分科会報告

1) 材料分科会報告

[81-4-1]

吉田材料分科会幹事から第86回分科会(H29.7.24)の議事内容が報告された。主な内容は以下のとおり。

- 第35回材料専門委員会(5/31)報告

- 高クロム鋼の許容値等の見直しに係る追補・事例規格案に関する書面投票における主な意見と対応案の報告。
- 火 STPA28 系鋼の許容値等の見直しの関連情報として、ASME における Gr.91 系鋼の許容引張応力値引き下げについての情報提供。
- 発電用火力設備規格 201X 年版改訂案資料の確認。

2) 構造分科会報告 [81-4-2]

飯田構造分科会主査から第 96 回分科会 (H29.6.20)、第 97 回分科会 (H29.8.23) の議事内容が報告された。主な内容は以下のとおり。

- 発電用火力設備規格 201X 年版に関するレビュー票のダブルチェックの審議状況、新旧対比表の準備・確認の状況。
- 高クロム鋼の許容値等の見直しに係る追補案（溶接継手強度低減係数）に関する書面投票、メール審議の結果と意見対応案に関する報告。

3) 溶接分科会報告 [81-4-3]

樺田溶接分科会副主査から第 75 回分科会 (H29.6.23) の議事内容が報告された。主な内容は以下のとおり。

- 発電用火力設備規格 201X 年版レビュー票の審議状況
- 今後の作業の進め方の確認について。

4) 配管減肉分科会報告 [81-4-4]

尾山配管減肉分科会主査から、配管減肉分科会幹事会の議事内容および、その後のメール審議により策定された配管減肉分科会活動方針について報告があった。

- 分科会三役による幹事会（6/5）において、今後の減肉データの収集、分科会の運営方法などに関する活動方針作成の考え方を確認した。
- 上記をもとに分科会三役が活動方針案を策定し、メール審議（6/22～7/7）により配管減肉分科会において分科会の活動方針が確認された。
- 資料に基づき、策定された配管減肉分科会の活動方針が説明され、特にコメント等は無く了承された。

(3) 火力専門委員会書面投票 No.71、メール審議 No.4 結果報告 [81-6]

事務局から、火力専門委員会書面投票 No.71 とその意見対応による修正案に関するメール審議 No.4 について、いずれも可決となったことが報告された。引続いて、吉田材料分科会幹事と飯田構造分科会主査から、書面投票意見（意見 No.1～No.15）とその対応案、対応案を反映した規格の修正案について紹介があった。

(4) 発電用設備規格委員会書面投票 No.373 結果報告 [81-7]

事務局から、発電用設備規格委員会書面投票 No.373 が可決になったことが報告された。書面投票の意見対応による修正案については、審議事項にて審議する。

4. 審議事項

(1) 発電用設備規格委員会書面投票 No.373 の意見対応による修正案について [81-8]

吉田材料分科会幹事と飯田構造分科会主査から、発電用設備規格委員会書面投票 No.373 の書面投票意見の対応案と意見対応を反映した修正案について、説明があった。
審議の結果、修正案が編集上の修正または軽微な技術的な修正であり、修正内容が妥当であることが、出席委員全員の賛成で承認された。

主なご意見、質問は以下のとおり。

- 基本規定附属書 1 の最後のところに、寿命評価を行うこととあるが、規格の表現として一般的なものか。
→ 規格としては、よく使う普通の表現になっています。
・了解。
- 法令等との係りに関する記載もあるが、純粋に技術的な内容についてしっかり改訂していただければ良い。
- 意見 No.12 に関連して、JSME 規格の P 番号は火技解釈とは異なることなどを考慮すると、機械学会の規格として将来的には「CSEF 鋼」とすることを検討してはどうか。
→ そのようにする。
- 補遺 38、52 にある表のタイトル「高 Cr 鋼」は、「高クロム鋼（CSEF 鋼）」と記載を変更すべき。
→ 修正する。

- (2) 次期火力専門委員会委員長の選任手続きについて [81-9]
事務局が、資料に基づき次期火力専門委員会委員長の選任手続きについて提案をおこない、提案どおりに進めることが、出席委員全員の賛成により承認された。

VI. 次回開催予定

日 時：2017 年 11 月 29 日（水） 13:30～17:00
場 所：日本機械学会 第 1 会議室